

貼り雑ぜ（新） 11.2.3

【解説】

「貼り雑ぜ（新）」は旧「貼り雑ぜ」と同じような機能なので名前は引き継いでいますが、全く新しく作ったもので互換性は有りません。煩雑なので、以下の文書やアプリケーション内の表記では単に「貼り雑ぜ」としています。

「貼り雑ぜ」は、スライドショーのような動作ですが、画面上のランダムな位置に画像ファイルの絵を配置するだけの単機能です。絵を表示する順序もランダムで、次々と上に重ねて表示します。

表示する絵が大き過ぎる場合には縮小して表示しますが、それ以外はサイズ調整やトリミングをせずにそのまま表示します。事前に適切なサイズに加工した絵を準備する事を前提にしています。

表示するファイルはユーザーの「ピクチャ」フォルダ内に置きます。詳細は別に添付したドキュメントを参照してください。

【操作】

起動すると自動で動作開始して、キーボードの「esc（エスケープ）」を押せば終了します。

設定の表示には「.（ピリオド）」説明の表示には「H」キーを押してください。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

【インストール】

「貼り雑ぜ」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

使用するには画像ファイルを所定のフォルダに格納する必要があります。これに関しては別に添付したドキュメントを参照してください。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「貼り雑ぜ」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「貼り雑ぜ」は、Unity2020.3.48f1で作成されています。

【バージョン履歴】

2024.02.20 11.2.3

起動時のキー入力に関する不具合対応

2023.11.20 11.2.2

内部処理の調整

2023.07.07 11.2.1

内部処理の調整

2023.01.07 11.2.0

サブフォルダに対応

内部処理の調整

2022.05.20 11.1.1

画面表示の調整

内部処理の調整

2022.03.01 11.1.0

画像フォルダ選択の不都合対応

時刻表示の追加

細かな動作の調整

内部処理の調整

2021.5.31 11.0.0

初版

2024.2.20 竹内 (Macの変人) 喜代志